

4月19日と26日の2日かけ、ひぐらしの里多目的ホールにて認知症サポーター養成講座を開催しました。この研修は、認知症に対する正しい理解と対応ができるための基礎講座で、対象は一般の社会人です。当法人では、脳神経内科と老人保健施設を持つ施設として、医師や看護師以外の職員にも円滑で適切な対応ができるようにこの研修を企画しました。

医事課、総務課の事務職員から看護補助者、薬剤師をはじめとしたコメディカル職員まで、約50名が参加しました。

受講した職員からは「知らないことがたくさんあった」「今後の業務に活かします」「まず声をかけることが大切だと感じました」等の声が集まり、私自身も研修を開催したことで施設全体の認知症に対する意識の高まりを知ることができました。

今回参加できなかった職員や近隣住民を対象に、第2回の研修を企画しますので是非ご参加ください。

医療法人社団関川会 看護部長 柳島多三夫

《認知症サポーター養成講座とは》

認知症に関する基礎知識のほか中核症状・治療方法・予防に対する考え方、接するときの心構え等を学び、認知症のある方々やその家族を地域で支えるための研修で主に企業や学校等の団体に開催されている研修。地域全体で認知症と向き合い支えあう目的がある。

研修の様子



東日暮里地域包括支援センター・西日暮里地域包括支援センター職員の協力があり実現しました。